

日本文化専門家による書道・茶道ワークショップの開催

11月3日及び4日、アンマン市のフセイン文化センターにて、山口和加子専門家による書道・茶道のワークショップを開催しました。山口様は、日本で観光案内バスの英語通訳案内士を20年以上務めて来られた書道、茶道の師範であり、日本の精神性を英語で発信する活動にも取り組まれています。

今般、日本の外務省の事業により、ヨルダン、サウジアラビア、トルコの三カ国を訪問され、アニメや寿司といった現代の日本文化の側面とはひと味違う、日本の伝統文化の真髄に触れることのできるワークショップを実施されました。

ワークショップは、ホレイファート・フセイン文化センター所長と柳秀直大使の挨拶に始まり、その後、山口専門家が茶道及び書道についての説明を英語にて行われ、さらに聴衆が参加しての実体験の機会を提供されました。

ワークショップには、二日間でのべ約80名の方にご参加いただきました。参加者からは、「日本の専門家に直接お話を伺える大変貴重な機会であった」、「本物の道具を用いての実体験をできたことが嬉しかった」といった感想が得られるなど大変好評で、日本の伝統文化に親しみを持って頂く良い機会となりました。



茶道の説明



茶道のデモンストレーション



書道の説明



参加者による書道の体験